

# 事業計画

(第 25 期)

自 平成 22 年 4 月 1 日  
至 平成 23 年 3 月 31 日

株式会社旭川保健医療情報センター

旭川市金星町 1 丁目 1 番 50 号

# 事業計画

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

## 1 事業方針

当社は、公共性の高い保健・医療・福祉分野の情報化を推進する法人として、昭和62年2月に設立されてから24年目を迎えます。

これまで保健・医療・福祉分野の情報システム開発を進めると共に安全に努めた運用保守業務や自社開発によるパッケージシステムの販売に注力し、市内はもとより道内の自治体や医療機関等より高い評価を受け事業運営を実施しております。

また、平成22年度は第5次中期運営計画（平成19年度～平成22年度）の最終年次にあたり、掲げる重点目標に沿った事業運営を行うと共に次期中期運営計画の策定に着手いたします。これまでの中期運営計画は会社の経営方針や目指すべき組織の在り方というよりは4ヵ年の事業内容を中心とした方針を掲げる計画でありました。

しかし、現在の非常に厳しい経済環境や社会情勢の変化に対応するためには10年間で1つのサイクルとしたビジョン形成や目指す方向性・目標を確立し、その実現のために全社員が邁進して行くことが肝要であると考えております。そのためにも今年度中に新たに10ヵ年の長期総合計画を策定し、その目標達成に向けた事業の進め方を中心とした5ヵ年の中期運営計画を策定し平成23年度より実施してまいります。

また、組織の活性化と増加する総人件費に一定の枠を嵌め、将来において計画的な新卒採用を可能にするための役職定年制度と対象社員の多様な将来設計を支援する早期退職制度を導入してまいります。

一方、当社を取巻く経営環境としては、地方経済の疲弊の中、自治体の税収減による財政運営や国の医療費抑制策による病院経営等がより一層厳しさを増す中で、システムの更新サイクルもこれまでの5年から6～8年と延長傾向が顕著であり、これまで以上に新規ユーザーの獲得が求められる等、大変厳しい状況にあります。

このような環境の中、今年度における事業につきましては、システム使用料や保守運用業務の受注継続を確保し、法律改正や制度改正に伴うシステム改修業務を確実に受注することはもとより、新規システムの開発に向けた提案を積極的に行い受注に努めてまいります。

また、自社開発の健診・特定保健指導パッケージ及び給食管理パッケージの販売につきましては順調に推移してはおりますが、更なる営業パートナーとの連携を密にして新規ユーザー獲得に全力で努めてまいります。

具体的な取り組みは、第5次中期運営計画（平成19年度～平成22年度）における

4つの重点目標に基づいて事業を進めてまいります。

今後とも、公共性の高い保健・医療・福祉分野に特化した法人として、より質の高い情報システムの構築を目指し、地域住民の健康増進基盤の確立に貢献してまいります。

## 2 具体的な事業の取り組み

### (1) 既存システムの機能拡張と運用

既存システムの賃貸借や保守管理は、契約期間満了に伴う賃貸借料の減額や、制度廃止による終了によって、大幅な受注減が予定されておりますが、前年度下期から着手中の各種制度改正に伴うシステム改修作業や、7月に更新期を迎える狂犬病予防システムの更新、および新規システム開発の受注を確実に行ってまいります。

#### <主な作業予定>

- ・保健福祉情報システム

障害者自立支援法および手帳制度の改定対応（9月まで）

- ・児童手当等システム

子ども手当対応（9月まで）

- ・赤ちゃん訪問事業システム（新規）

保健福祉情報システムへの組み込みシステムとして、新生児訪問事業の台帳管理業務をシステム化

- ・狂犬病予防システム（7月更新）

機能強化を含むシステム更新の受注

- ・保険者向け特定健診・特定保健指導システム

特定健診決済情報のオンライン入力機能追加

### (2) パッケージシステムの機能強化及び販売普及

健診、および特定保健指導システムは、新規受注の拡大を重点目標とし、営業展開を実施してまいります。特に本年は、8月下旬に旭川で日本人間ドック学会学術大会が開催されることから、同大会への出展により製品や会社の認知度向上を図り、営業機会の拡大を目指します。

合わせて健診システムは、平成23年度に導入後5年経過ユーザーが出現する見通しであることから、次期バージョンの製品戦略を検討し、順次開発に着手してまいります。

給食パッケージは、既存ユーザーの更新に重点をおきつつ、新規受注の拡大にも取り組んでまいります。

また、いずれのパッケージシステムについても、営業連携や導入支援を期待できるパートナー企業の擁立も進めてまいります。

#### <主な作業予定>

- ・健診システム

新規受注への営業活動（道内医療機関4件へ営業中）

日本人間ドック学会学術大会（旭川開催）への出展

次期バージョンの製品戦略検討と開発の着手

営業連携や導入支援を期待できるパートナー企業の擁立

- ・特定保健指導システム

新規受注への営業活動（道内医療機関1件へ営業中）

- ・保育所向け給食パッケージ

導入後5年経過ユーザーへの更新案内と、新規受注に向けた販促

（更新対象ユーザー5件）

- ・特別支援学校向け給食パッケージ

導入後5年経過ユーザーへの更新案内と、新規受注に向けた販促

（更新対象ユーザー19件）

### （3）病院情報システムの導入及び開発業務の受託

病院情報システム保守運用業務の継続受注と、安全性強化の取り組みを重点的に取り組んでまいります。また、法改正対応や新たな保守業務等についても、積極的に受注できるようメーカーとの連携強化などを図ってまいります。

#### <主な作業予定>

- ・病院情報システム保守運用業務

メーカーおよび道内病院より継続受注

保守要員の業務ノウハウおよび技術スキルの向上

- ・道内大学病院の病院情報管理システム開発保守業務

メーカーより継続受注（歯科カルテ分野の開発）

### （4）医療情報ネットワークシステムの検討

国の「新たな情報通信技術戦略の骨子（案）」の「地域の絆の再生」に掲げられた全国どこでも過去の診療情報に基づいた医療を受けられる仕組みづくりを

意識しつつ、旭川市が取り組んできた平成21年度ユビキタスタウン構想推進事業による「地域保健・職域保健の連携基盤構築」や、平成20年度地域ICT利活用モデル事業による「健康増進および地域活性モデルの事業化」をベースに、市民の健康増進に寄与する情報基盤やシステムづくりを検討してまいります。

<主な作業予定>

- ・地域の絆の再生  
国のIT戦略動向等の調査検討

#### (5) その他

地域医師会向けの特定健診データ入出力代行サービスも3年目となり、運用体制の確立と、国の制度運用の安定が保たれる状況となり、かつ受注状況も堅調であることから、サービスの質とユーザー満足度の向上に努めます。

情報セキュリティの強化と業務遂行の安全性向上につきましては、将来的な公的認証取得を視野に入れ、情報セキュリティに関する社内諸規定を公的認証の基準に近づけてまいります。

<主な作業予定>

- ・代行入出力サービス  
提出先別請求額一覧の出力を追加（5月運用分より）
- ・社内情報セキュリティ強化  
社内諸規定、運用ルールの見直し（公的認証の基準に照合）  
受託業務ごとの情報管理基準の整備・向上  
個人情報保護等に関する社内研修の実施

#### 重点目標（第5次中期運営計画）

- ・既存システムの機能拡張と運用
- ・パッケージシステムの機能強化および販売普及
- ・病院情報システムの導入および開発業務の受託
- ・医療情報ネットワークシステムの検討